

非接触型図書館サービスについて

<インターネットを利用するサービス>

1 電子書籍の館外貸出サービス

・紙媒体ではなく、デジタルデータで作成される出版物を電子書籍といい、インターネットを利用することで、来館せず、紙の本と同じように貸出できる。
(都内では、八王子市、狛江市、昭島市、千代田区、渋谷区等で実施)

2 チャットやビデオ通話等によるレファレンスサービス

・利用者とコンピュータ上で、文字(テキスト)のやりとりによる対話(チャット)や、音声による通話をしながらレファレンスを進める。
(国内では、大学図書館等で実施の事例あり)

3 各種イベント(無観客)や書架のリアルタイム映像配信(実況中継)サービス

・図書館で行われるイベント(講座、おはなし会等)をホームページ上で映像配信する。

4 RSS(Really Simple Syndication)を利用した選択的最新情報サービス

・RSSとは、様々なWEBサイトの要約や記事の見出しなどを配信するための技術で、利用者は、RSSリーダーと呼ばれるソフトウェア等を使用し、登録することで、図書館に掲載されたお知らせや新着図書情報等を自動的に取得し、興味のある記事を簡単に閲覧することができる。

<人との接触を少なくするサービス>

1 ウォークスルー型自動貸出システム

・利用者は、バッグに利用者カードを入れたまま、借りたい本を持って読取ゲートを通過するだけで、簡単に貸出手続きが完了し、登録されたメールアドレスにお知らせが届く。また、返却時は自動返却ポストを利用することで、貸出と返却手続きの際、カウンターに立ち寄る必要がない。
(和歌山県有田川町 2020年1月7日運用開始)

2 郵送・宅配サービス

- ・利用者が予約した資料を、郵送・宅配により提供する。
(府中市立図書館では、来館が困難な方(府中市在住で、身体の障害・高齢などの理由により来館が難しい方)へ、ご希望の図書や視聴覚資料をご自宅までお届けしている。)
- ・すべての市民を対象とした郵送・宅配サービスを実施している図書館
 - 北海道立図書館「インターネット予約貸出サービス」
 - 恵庭市立図書館(北海道)「高齢者等図書宅配サービス」
 - 秋田県立図書館及び山形県立図書館「図書宅配サービス」
 - 福島県立図書館「資料宅配サービス」
 - 埼玉県立図書館「図書及びCD 郵送サービス」
 - 神奈川県立図書館「宅配貸出サービス」
 - 県立長野図書館「宅配による貸出」
 - 宇都宮市立図書館(栃木県)「図書宅配サービス」
 - つくば市立中央図書館(茨城県)「図書送付貸出しサービス」
 - 鎌倉市図書館(神奈川県)及び横須賀市立図書館(神奈川県)「図書宅配便」
 - 横浜市山内図書館「有料宅配サービス」
 - 宝塚市立図書館「郵送貸出」
 - 広島市立図書館「有料図書宅配サービス」
 - 高松市図書館(香川県)「資料郵送貸出サービス」
 - 宮崎県立図書館「図書館資料宅配サービス」
 - 筑後市立図書館(福岡県)「だれでも利用できます！宅配サービス」
 - 出水市立図書館(鹿児島県)「宅配サービス『本で見守り隊』」

3 ドライブスルーによる貸出返却

- ・利用者側は、自家用車に乗ったまま資料の貸出や返却ができる。
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宇部市立図書館(山口県)、常総市立図書館(茨城県)、福井市立図書館(福井県)が臨時休館中に実施)

4 ドローンによる図書館間相互配送システム

- ・利用者の求めに応じて、図書館はその資料を所蔵する他館にその利用を申し込み、利用者が希望する受取館へ、ドローンにより資料を配送する。
(秋田県仙北市がドローンによる学校間での図書配送の実運用テストを 2016年4月11日に実施。図書3冊(約1キログラム)を搭載し、直線約1.2キロメートルを毎秒5メートルで飛行した。)
- (参考資料:図書館雑誌 2020.5 「非接触型図書館サービス」)